

ふれあいと思いやりのまち

7.67
むこう

むこう市社協だより

福祉パレット

向日市社会福祉協議会では
 平成21年度会員を募集しています!

ふれあいと思いやりのまちづくりのために



会費には、次の種類があります。

(世帯の皆様を対象に)

一般会員・・・一口 **500円**

特別会員・・・一口 **3,000円**

(向日市内の企業・団体の事業所の皆様を対象に)

賛助会員・・・一口 **5,000円**

(福祉のまちづくりにご賛同いただく篤志家の皆様を対象に)

名誉会員・・・一口 **10,000円**

*会費口数には制限はありません。

*自治会・町内会組織のない、また所属されていない方でもご加入いただけます。

お問い合わせ先

総務係 電話932-1960



社会福祉協議会は、住民を主体とした誰もが安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を実現するために、地域の様々な取組みを支援する社会福祉法に基づく民間の福祉団体です。

会費は、次のような事業に使わせていただきます。

- ☆子育て支援事業（子育て講座など）
- ☆くらしに活かす介護教室
- ☆ふれあい料理教室
- ☆障がい者（児）ふれあいレクリエーション
- ☆地区社会福祉協議会（地区社協）への支援
- ☆ひとり暮らし高齢者への防災・福祉合同パトロール
- ☆敬老祝品の贈呈
- ☆福祉団体への支援（老人クラブ、障がい者団体、その他の福祉団体）
- ☆福祉資金の貸付



入れ歯リサイクル事業をはじめました!

不要になった入れ歯が役立つことをご存知ですか？

向日市社会福祉協議会では、特定非営利活動法人日本入れ歯リサイクル協会と協力して、不要になった入れ歯の回収事業を始めました。

回収された不要入れ歯には貴金属が含まれており、リサイクル協会を通じてお金に変換されます。その収益は、ユニセフの活動と向日市の社会福祉事業に役立てられます。

回収ボックスは、向日市福祉会館に設置していますので、ご協力をお願いします。

平成21年度事業計画

●重点目標●

今年度も、「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を積極的に推進するため、幅広い市民の参加・参画を得ながら、地区社協をはじめ関係機関団体と協働した取組を進めます。

1 「地域福祉活動計画」の推進

この計画にもとづいて、小地域活動の活性化に努めるとともに、市民福祉向上に資する各種講座や研修会を開催し、福祉の風土づくりをすすめるため、地域の福祉力を高める活動を行います。

2 相談体制の充実・強化

高齢者や障がい者とその家族の様々な相談に対応するため、地域包括支援センター及び障害者地域生活支援センターの機能・充実を図り、また市民の生活上の悩みや介護などの福祉に関する相談については、日常的に相談窓口を設け、必要な支援やサービスへとつなげます。

3 ボランティア活動の充実・拡大

ボランティアの市民参加を促進するため、相談会の実施



4 介護保険事業の健全な経営

や情報誌の発行、講座等を開催し、ボランティア活動センター機能の充実に努めます。

5 福祉会館の管理運営

運営基準や各種法令を遵守するとともに、今年度の介護報酬の改定に伴って、より良質な介護サービスを提供するため、マンパワーの育成に努めます。また、事業運営の透明性を図るため、第三者評価の結果を公開します。

総合的な福祉活動の拠点施設として、福祉関係者に利用しやすい施設となるよう、申込日を拡大し、より適正な管理運営に努めます。

社協まつりを開催します

日時 平成21年11月1日(日)

午前10時から午後3時まで

会場 向日市福祉会館

内容 模擬店・人形劇・障がい者施設作品展示販売・鉄道模型ちびっこ運転会・福祉用具・介護用品販売展示・ミニステージ・もちつき・ビンゴゲームなど

「地域福祉実態調査」の回答にご協力ください!

みんなで一緒に取り組もう!

ふれあいと思いやりのまちづくり

向日市社協では、市民を対象に、地域福祉に関する実態調査を行います。

実施時期は、今年の10月頃で、その結果は、向日市社協が主催する新規事業の企画や、既存事業の見直しなどに活用し、ふれあいと思いやりのまちづくりを推進します。

無作為で選ばれた20歳以上の方に調査票を郵送しますので、回答にご協力いただきますようお願いいたします。

平成21年度歳末たすけあい募金配分助成金のお知らせ

市内の福祉団体等に対して、福祉の増進と社会参加を目的に、交流のつどいや生活支援事業、研修会など、積極的な

団体活動に対する事業助成を実施します。

なお、配分助成金は団体の運営費ではなく、団体が行う事業に対してその経費の一部を助成するものです。

〔助成金額〕

上限5万円

〔交付日〕

平成22年1月中頃



平成20年度事業報告

(1) 小地域福祉活動

- ①地区社会福祉協議会（地区社協）への支援
- ②地区社協会長会
- ③地区社協連絡会
- ④地区社協配食活動従事者研修会
- ⑤「ほのほの広場事業」への支援

(2) 子育て支援活動

- ①子育て支援講座
- ②思春期子育て親育ち講座
- ③向日市まつり「みんなで子育てMUKOフェア」への協賛
- ④子育てのつどい「みんなで子育てMUKO」

(3) 高齢者福祉活動

- ①「敬老会」への協賛
- ②長寿祝品の贈呈
- ③お節料理の配食
- ④地域支えあいベル設置事業
- ⑤地域支えあいベル設置事業の実態調査
- ⑥ひとり暮らし高齢者等防災・福祉合同パトロール
- ⑦地域健康塾
- ⑧介護予防いきいき事業
- ⑨ふれあい料理教室
- ⑩男性のためのふれあい料理教室
- ⑪生活支援型ホームヘルプサービス
- ⑫介護者リフレッシュ事業
- ⑬ふれあいサロン活動促進事業
- ⑭向日市老人クラブ大会への協賛、向日市老人クラブスポーツ大会の共催、向日市老人クラブ連合会への助成
- ⑮高齢者見守り隊事業

(4) 障がい者（児）福祉活動

- ①聴覚障がい者のための手話教室
- ②障がい者のためのフラワーアレンジメント教室
- ③第27回障がい者（児）ふれあいレクリエーション
- ④「向日市障害者の日実行委員会」への参画
- ⑤障がい児・者余暇活動支援事業（ハンドベル）
- ⑥障がい児療育事業（ミュージックケア）
- ⑦聴覚障がい者・中途失聴覚者・難聴者のためのいきいきサロン

- ⑧「障害者地域生活支援センター」事業

(5) ボランティア活動センターの運営

- ①ボランティア相談会
- ②向日市社協ボランティア連絡会への支援
- ③「福祉とボランティア」出前教室
- ④ボランティア入門スクール
- ⑤地域サポーター養成講座

(6) 資金の貸付

- ①くらしの資金
- ②小口厚生資金
- ③生活福祉資金
- ④離職者支援資金及び長期生活支援資金

(7) 向日市地域包括支援センターの運営

- ①特定高齢者の把握及び介護予防ケアマネジメント
- ②向日市包括ケア会議
- ③地域包括支援センター連絡会議
- ④介護支援専門員連絡会議
- ⑤介護予防啓発事業
- ⑥認知症予防講座
- ⑦講演会「遺言と成年後見制度のすすめ」
- ⑧向日市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会

(8) 福祉サービス利用援助事業

- ①福祉講演会

- ②生活支援員サポート研修

(9) 福祉学習

- ①認知症高齢者の介護講座
- ②くらしに活かす介護教室
- ③地域福祉推進研修会
- ④学習備品の貸出し

(10) 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金運動

(11) 在宅福祉サービス事業

- ①ホームヘルプ（訪問介護）事業
- ②デイサービス（通所介護）事業
- ③居宅介護支援事業
- ④障がい福祉サービス事業
- ⑤要介護認定調査

(12) 福祉会館の管理運営

(13) 福祉相談（心配ごと相談）

(14) その他の福祉活動

- ①車の貸出
- ②福祉団体への助成
- ③新成人自己発見・再確認支援事業

(15) 法人運営

- ①理事会
- ②評議員会
- ③委員会
- ④広報誌むこう市社協だより「福祉パレット」の発行
- ⑤第1回社協まつりの開催

平成20年度決算概要全体

(収入)

(支出)

	金額		金額
会費収入	5,520,300	人件費	237,628,381
寄付金収入	549,374	事務費	46,457,165
補助金収入	26,202,576	事業費	14,176,461
受託金収入	71,053,737	積立金	21,197,405
事業収入	291,150	負担金	617,700
共同募金配分金収入	6,086,922	助成金	7,059,247
介護保険収入	216,017,949	貸付金支出	2,680,000
障害福祉サービス収入	12,087,963	固定資産取得支出	1,430,255
受取利息収入	2,091,239	その他	994,000
その他	3,820,029		
前期繰越金	52,655,748	次期繰越金	64,136,373
合計	396,376,987	合計	396,376,987

向福グループ「木製ベンチ」を 寄贈いただきました。

平成21年4月23日(木)に向日市のボランティア団体「向福グループ」から木製ベンチを寄贈いただきました。



同グループは不要なアルミ缶回収の活動をされており、その資金で毎年車いすなどを

社協に寄贈されています。「市民の方がウオーキングなどを楽しむ際、ちょっとした休憩場所として使ってもらえたら」と、「ポケットパーク」のベンチとして、設置いたしました。

三菱電機株式会社指定寄付金のお礼

三菱電機株式会社様及びS基金様より、障がい福祉事業に活用することを目的として、26万8千円の指定寄付金をいただきました。

団体には寄付されています。向日市社協では、今年も「心のふれあい」を合言葉に、社会参加と参加者相互の交流を目的に「障がい児・者ふれあいレクリエーション」を開催し、指定寄付金を事業費の一部として使わせていただきました。ご協力ありがとうございました。

善意のご寄付 ありがとうございました。

(平成21年2月1日～平成21年5月19日)
向日市グランドゴルフ協会 10,000円
向日市中央公民館
木曜生花クラブ様 10,000円
ボランティア募金箱の設置にご協力ありがとうございました。

32,726円の募金が集まりました。

デイリーヤマザキ向日郵便局前、中華料理ほあんほあん、タックメイト万源、キッチンタロー、野村龍酒店、なかの食品、洛園、オカダ酒店ライフシティ東向日、はなこ、麒麟園、フォレノワール、向陽ゴルフセンター

くらしの資金(夏期)のお知らせ

疾病や失業等により、一時的にお金のやりくりが困ったり、緊急に資金を必要とする世帯のために、「くらしの資金」の相談を受付けます。

●受付期間／7月1日(水)～14日(火)
午前9時～午後4時
(土・日曜日を除く)

◎要予約

●貸付限度額／1世帯あたり10万円以内

●ご相談は
地域福祉係(電話932-1961)まで。

ボランティア活動センターからのお知らせ

ボランティア入門講座 申込受付中

参加
無料

仕事や家庭がひと段落! そんな男性・女性の方がご参加ください。

市内在住、在勤のボランティア活動に関心のある方

7月10日(金) 13:30～16:00

講演 ボランティア活動の第一歩

～新たな「つながり」「いきがい」を地域で探そう～

講師 早野 矢須男さん(NPO法人ナルク本部 企画室長)

7月16日(木) 13:00～16:00

活動体験 車いす、グループ活動、施設活動

講師 社協ボランティア連絡会

30名募集中!

サマーボランティア体験2009 参加者募集中

夏休みを利用して、市内の福祉施設での3日間のボランティア活動をしませんか?

参加できる方は市内在住、在学の高校生以上の学生の方です。

7/23(木) オリエンテーション

活動先 市内保育所、高齢者介護施設、障がい者福祉施設等

申込 7/1(水)～
7/21(火)

先着50名



会場はいずれも向日市福祉会館(3階)大会議室

地区社協活動のご紹介 ～パート9～

ふれあいと思いやりのまちづくり

上植野地区社協編

向日市には、小地域（行政区）を単位として、8か所（物集女・寺戸・森本・鶏冠井・上植野・向日・西向日・向日台）の地区社会福祉協議会（略称：地区社協）が設立されています。

今回は、上植野地区社協の活動を紹介します。

毎月第3木曜日を配食の日として、地区の70歳以上のひ

とり暮らしの方を対象に、配食活動を実施されています。

地区社協をはじめ各団体（婦人会、民生児童委員連絡協議会など）が当番制で調理を担当され、2月19日（木）には、合計6品目のお弁当を70食、また、4月16日（木）には、合計7品目のお弁当を71食、調理されていました。

調理される人は、平均4～

5名と、かなり少ないにも関わらず、役割を分担されながら非常に手際良く、息の合った連携プレーを見せていただきました。

また、配達の間（午前11時30分頃）になると、民生児童委員さんが大きなカゴや袋を持って次々に来所され、お弁当を詰め込んで、配達さ



2月のお弁当
炒め物や煮物、おひたし等、お野菜たっぷりの献立でした！



4月のお弁当
旬の味覚の旬ご飯を中心に、彩り豊かな献立でした！



配達に出発！

れています。

上植野地区社協の小野会長からは、「上植野地区社協では、子ども会と共催で開催している事業が大半を占めているため、唯一高齢者を対象としている配食活動には、力を入れて取り組んでいる」と伺いま

した。
そして、調理される人のチームワークがよく、少人数であっても、連携が円滑であることや、配食の日を固定化していることが、従事者にも対象者にも分かりやすく、好評であること等についても伺うことができました。

これからも「福祉パレット」の中で、地区社協活動を紹介いたしますので、関心のある方は、お気軽に向日市社協までお問い合わせください。

野菜の成長に季節を感じながら

まちかどウォッチング



今回は、老人福祉センター「桜の径」にある園芸サークルを紹介します。

園芸畑には、様々な野菜が栽培されており、各々が自分のペースで活動されています。

取材をさせていただいた堀野さんは、「畑の様子を確認することで、お互いの様子をうかがい知ることができ、野菜の成長がメンバーの元気の証です」と話されています。

このようにサークル活動を通して、地域住民が相互に見守りを行うことの大切さや素晴らしさを改めて感じました。



協力：堀野さん（指導員）、田辺さん
撮影：平成21年5月19日（火）

「福祉相談」のご案内

お気軽にご相談ください！

向日市社協では、昨年度から、向日市と共催で開設している「困りごと相談」に併設し、「福祉相談」を行っています。

「福祉相談」では、介護保険制度や成年後見制度（※1）、福祉サービス利用援助事業（※2）をはじめ、福祉全般に関する相談をお受けしています。相談は無料ですので、お気軽にご相談ください。

◆日時

	7月	8月	9月	10月	11月
第2火曜日	14日	休み	8日	13日	10日
第4火曜日	28日	25日	29日 (第5週に振替)	27日	24日

午前9時15分～正午 ※午前11時30分には、受付を終了します。

第2火曜日は、福祉の現場に携わっている社協職員が担当し、第4火曜日は、社協職員に加えて、成年後見制度に関する助言者として、司法書士が相談をお受けします。

◆会場

向日市福祉会館（3階）研修室 ※会場には、駐車場はございません。

（※1）成年後見制度

判断能力が不十分な方々に対して、法律面や生活面で支援する制度です。

（※2）福祉サービス利用援助事業

判断能力が不十分な方々に対して、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理を支援する事業です。

介護保険制度の改正

今まで通りのサービスは受けられないの？

Aさんは、要介護4で、介護保険サービスを利用されています。
今年の2月から体調を崩し入院されていましたが、6月に退院が決まったと連絡が入りました。
そこで退院後の介護保険サービスの利用内容を相談するため、入院先の病院を訪ねました。

「Aさん。退院が決まったそうでおめでとうございます。退院後のサービスの予定ですが」

「以前と同様で、朝夕にヘルパーに来てもらって、週2回デイに行きたいと思います」

「実は、4月に介護保険制度の改正によって、介護報酬が見直され、ヘルパーやデイサービスなどの単位数が以前に比べて高くなりました。以前と同じプランだと、来月の単位数は、32,600単位ほどになり、要介護4の限度額の30,600単位を2,000単位ほど超えてしまうことになります」

「そうすると、負担額は、前よりも、少し高くなるの？」

「実は、超えた2,000単位は、自費になります。地域加算を加えると来月の合計利用額は、自費分2万円余りを加えて、5万3千円程になってしまいます」

「えー、そんな高い金額払えません！」

ところで、今回の改正の大きな変更点の一つは、介護報酬が3%引き上げられたということです。従って利用者の負担額も増えることとなります。そのため各事業者やケアマネが利用者に対して説明させていただき、ご理解をいただくようお願いしているところです。

そこで問題となりますのは、従前から限度額ぎりぎりサービス利用をされている場合です。

介護保険サービスは、要支援・要介護度に応じて限度額が決められ、限度額内の利用では、1割負担で済みますが、限度額を超えた分は、全額を自費で負担することになります。

今回の改正では、限度額そのまま据え置かれたので、冒頭のような事が起こったのです。

では、高額な負担金を申請して、後で支給される制度はないのでしょうか。

介護保険では、高額介護サービス費の支給申請ができます。

その場合、1割の自己負担額が1か月の合計で下記の上限額を超えた分（同一世帯に複数の利用者がある場合は世帯全体の負担額が上限を超えた額）が対象となります。

しかし、介護度別の限度額を超えた自費分は対象外です。

利用者負担段階	内 容	世帯の上限額
第1段階	老齢福祉年金受給者で世帯全員が市民税非課税か生活保護受給者	15,000円
第2段階	世帯全員が市民税非課税で合計所得金額と課税年金収入が合わせて80万円以下の方	15,000円
第3段階	世帯全員が住民税非課税で第2段階以外の方	24,600円
第4段階	上記以外の方	37,200円

さて、Aさんはどうされたのでしょうか。

- ①以前と同様の在宅生活を送りたいので、高い自己負担金を支払うことにする。
- ②限度額内に収まるように、サービス内容を見直す。

といった、二つの選択が考えられます。

Aさんが納得されるまで、一緒にプランを検討し直し、安心して退院後の在宅生活を送っていただけるよう調整させていただきました。

「選べるデイサービス」がはじまりました！

「生きがいづくりを支援します」

4月から、より自分らしく
 デイサービスを楽しんでいた
 だくために、「個別機能訓練」
 と「クラブ活動」を新たに設
 けました。

利用者の皆さん自身が、自
 由に選り参加する形で行って
 います。

個別機能訓練【4種類】

- ① 平行棒体操
- ② はつらつ体操（主に立位で
体操する）
- ③ いきいき体操（主に座位で
体操する）
- ④ ベッド上体操（ベッド上で
他動運動）



クラブ活動【6種類】

- ① おしゃれクラブ
- ② 美術クラブ
- ③ お花クラブ
- ④ 手芸クラブ
- ⑤ カラオケクラブ
- ⑥ ウォーキングクラブ



利用者の皆さんは、希望し
 た「個別機能訓練」と「クラ
 ブ活動」に参加し、いきいき
 と目を輝かせながら取り組ま
 れています。

まだ開始して日は浅いですが、
 担当する職員は、利用者
 の皆さんに楽しく有意義な時

間を過ごしていただこうと、
 ますます張り切っていますの
 で、これからもよろしくお願
 いいたします。

***ボランティアさん
 大募集！**

「デイサービスで一緒
 に楽しみませんか？」

デイサービスでは、6つの
 「クラブ活動」を一緒につくっ
 ていただく方を募集いたしま
 す。

好きなことを一緒に楽しむ
 ような感覚で活動いただけま
 すので、たくさんのご応募お
 待ちしております。

一日からでも構いませんの
 で、まずはお気軽にご連絡く
 ださい。

日時..

毎月、第4週の(月)～(土)

午後1時30分～3時00分

◎可能日時は相談に応じます

お問い合わせ先..

デイサービスセンター

TEL 931-3294

食中毒に注意しましょう

食中毒（しょくちゅうどく）とは、原因とな
 る細菌・ウイルス等が付着した食品や有害な物
 質が含まれた食品を食べることによって起こる
 健康被害をいいます。

症状としては、主に急性の胃腸炎（下痢・腹
 痛・嘔吐など）を起しますが、発熱倦怠感な
 ど風邪のような症状を起すこともあります。
 暑くなるこれからの季節、家庭の食事からでも
 発生しやすくなりますので、気をつけましょう。
 食中毒予防の3原則

1 菌をつけない（清潔、洗浄）

○手指や器具類の洗浄・消毒をしっかりと行い
 ましょう。

○生の肉や魚を保存するときは、他の食品に触
 れないようにしましょう。

○まな板包丁は、生の肉や魚用と、そのまま食
 べる食品用と区別して使い分けましょう。

○ネズミ、ハエ、ゴキブリの駆除を行いましょ
 う。

2 菌を増やさない（迅速、冷却）

○なるべく早く食べましょう。

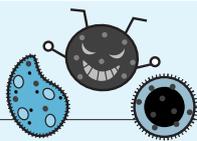
○食品を保存するときは、冷蔵庫・冷凍庫を活
 用しましょう。（過信に注意、菌は冷凍しても
 死にません）

3 菌をやっつける（加熱、殺菌）

○十分に加熱調理する。加熱する食
 品は中心まで十分に行いましょう。

○食器や調理器具は、熱湯、漂白剤
 などを使って消毒しましょう。

健康
 コラム



ボランティアグループ
「ひまわり」のみなさん
代表：長命 絢子さん
(写真 前列中央)



▼プロフィール

ボランティアグループ「ひまわり」は昭和40年代に結成され、高齢者の日常の手伝いや障がい者の外出支援、また児童の見守り等、幅広く地域福祉の向上に寄与されています。

昭和54年には、本会のボランティアアグループに登録され、現在は10名のメンバーで月2回、高齢者や障がい者の衣服の寸法直しやリフォーム等の活動をされています。

▼「ひまわり」の活動

「ひまわり」は、ホームヘルパーやデイサービスセンターの職員からの依頼を受け、高齢者や障がい者のズボンの裾直しやつぎあて、ボタンやチャックの修繕など、衣類のリフォームボランティアをされています。

このボランティアのきっかけ

は、以前、町で出会った高齢者のズボン丈が大きな針目で縫われているのを見て、高齢や障がいのため衣類のリフォームが困難な人に、自分たちに何かできることはないかと考え、裁縫を始められたそうです。

リフォームの依頼は、毎月たくさんあり、活動に対するニーズの多さを実感されているそうです。また、裾直しや修繕だけでなく、利用者が使いやすいように、ボタンをマジックテープに換えるなど、個々のニーズに合わせたリフォームもされています。

取材の最後には、「人のために始めた活動ですが、活動を続けていくことがメンバー同士の交流にもなっており、関わるすべての人にとって意味のある活動になっていきます」と笑顔で話されました。

取材の最後には、「人のために始めた活動ですが、活動を続けていくことがメンバー同士の交流にもなっており、関わるすべての人にとって意味のある活動になっていきます」と笑顔で話されました。

▼ふれあいと思いやりのまちづくり

向日市社協では、平成14年度に策定した「地域福祉活動計画」において、「ふれあいと思いやりのまちづくり」をスローガンに、日々地域福祉を推進しています。

「ひまわり」のみなさんに、「ふれあいと思いやりのまちづくりを実現させるために必要なことは？」と、質問したところ、「地域で生活していくには、人と人とのつながりが重要であり、近所つき合いを通してお互いに目配りを行い、支えあって暮らし

ていくことが大切だと思います。

向日市社協では、今後「この人に聞く」コーナーにおいて、「ふれあいと思いやりのまちづくり」の実現に向けて、メッセージを発信していく予定です。

向日市社協では、市内で社会福祉に携わって活躍されている方や団体にインタビューを行い、その方の社会福祉活動の内容等をご紹介します。「この人に聞く」コーナーを開設しています。今回は、ボランティアグループ「ひまわり」のみなさんに活動等についてお話を伺いました。

(愛称：むつみん)



向日市社協の広報誌「福祉パレット」に関するお知らせ

向日市社協の広報誌「福祉パレット」は、市民の皆様から寄せられた善意の「赤い羽根共同募金」の配分金を財源として、年に3回(3月・7月・11月)発行しています。

今後も市民の皆様に関心と親しみを持って読んでいただけるよう、紙面の充実に向けてまいりたいと思っておりますので、「福祉パレット」に対するご意見やご感想、ご要望等がありましたら、お気軽にお寄せください。

- お問い合わせ先
- 総務係 932-1960
 - 地域福祉係 932-1961
 - 障害者地域生活支援センター 932-1990
 - 地域包括支援センター 921-1550
 - デイサービスセンター 931-3294
 - ホームヘルプセンター 932-1968
 - 居宅介護支援センター 931-3030
 - 福祉会館 931-3322

